

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)	授業コード	C172581
担当教員名	赤星 哲也	科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	卒業研究に着手するために必要となる基礎知識・スキルを修得する科目です。卒業研究に着手する前に必ず受講してください。		
受講心得	欠席、遅刻を含めた受講態度を評価します。		
教科書	①「自然言語処理」放送大学教材 ②「心理学の卒業研究ワークブック」金子書房		
参考文献及び指定図書	<p>(Web)</p> <p>「言語情報処理ポータル」 <a href="http://nlp.kuee.kyoto-u.ac.jp/NLP_Portal/">http://nlp.kuee.kyoto-u.ac.jp/NLP_Portal/</a>  「NLTK -- Natural Language Toolkit」 <a href="http://www.nltk.org/">http://www.nltk.org/</a>  「Python 2.7ja1 日本語ドキュメント」 <a href="http://docs.python.jp/2/">http://docs.python.jp/2/</a></p> <p>(書籍)</p> <p>「新版 大学生のためのレポート・論文術」講談社現代新書  「新版 論文の教室」NHKブックス  「心理学の卒業研究ワークブック」金子書房  「自然言語処理」放送大学教材  「はじめての自然言語処理」森北出版  「自然言語処理の基礎」コロナ社  「自然言語処理(岩波講座ソフトウェア科学15)」岩波書店  「言語研究のためのプログラミング入門: Pythonを活用したテキスト処理」開拓社  「入門 自然言語処理」オライリージャパン  「IT Text 自然言語処理」オーム社  「言語処理のための機械学習入門」コロナ社  「言語処理学事典」共立出版</p> <p>(月刊誌)</p> <p>「日経ソフトウェア」  ※NBU大学図書館・情報検索サービス「日経BP社記事検索サービス」を用いて閲覧可  <a href="http://bizboard.nikkeibp.co.jp/daigaku/">http://bizboard.nikkeibp.co.jp/daigaku/</a></p>		
関連科目	卒業研究、研究ゼミナールA、プログラミング基礎		

授業の目的	卒業研究を行う上で必要となる専門分野の基礎知識・手法を修得する。卒業研究を遂行する上で必要となる研究手法を修得する。
授業の概要	赤星研究室の主な研究テーマである「自然言語知識」に関する専門書を演習を交えながら輪読する。また、卒業研究を遂行する上で必要となる研究手法を演習形式で学ぶ。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。	教科書①
<b>第2週：自然言語処理の基礎</b>	

「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第3週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第4週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第5週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第6週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。。		教科書①
<b>第7週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第8週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第9週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第10週：自然言語処理の基礎</b> 「自然言語知識」に関する専門書(教科書①)を演習を交えながら輪読する。		教科書①
<b>第11週：卒業研究のための研究手法</b> 教科書②を用いて、卒業研究に取り組む上で必要となる研究手法について学ぶ。		教科書②
<b>第12週：卒業研究のための研究手法</b> 教科書②を用いて、卒業研究に取り組む上で必要となる研究手法について学ぶ。		教科書②
<b>第13週：卒業研究のための研究手法</b> 教科書②を用いて、卒業研究に取り組む上で必要となる研究手法について学ぶ。		教科書②
<b>第14週：卒業研究のための研究手法</b> 教科書②を用いて、卒業研究に取り組む上で必要となる研究手法について学ぶ。		教科書②
<b>第15週：卒業研究のための研究手法</b> 教科書②を用いて、卒業研究に取り組む上で必要となる研究手法について学ぶ。		教科書②
<b>第16週：</b>		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	

備考	
----	--

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①教科書の担当割り当て部分を予習し、他の学生に説明するための資料を作成する。 ②卒業研究として取り組みたい専門分野を見つけ出し、問題意識をもつ。
【知識・理解】	①自然言語処理に関する基礎知識について理解している。 ②卒業研究に取り組み上で必要となる研究手法を理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	①自然言語処理に関する基礎知識を用いて演習問題を解くことができる。 ②卒業研究に取り組み上で必要となる研究手法を実行できる。
【思考・判断・創造】	卒業研究の研究計画書の構想を立てる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	15点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		25点		
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。
発表・その他(無形成果)	欠席、遅刻を含めた受講態度を評価します。